

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	市民やすらぎ課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2273
	基本事業	墓地、斎場の安定的な維持、運営		事業実施主体	市
	事務事業	墓園・墓地整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 3年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民の墓所需要に応じて、新たな墓所を供給するため、高松市墓地整備計画(平成29年度～33年度)に基づき、市営墓地の無縁墳墓の移転改葬、新規墓所整備及び墓地の環境整備を行う。平和公園墓園・六ツ目公園墓園等、新規区画の造成が可能な市営墓地の整備についても計画的に推進する。		
3年度概要	市営墓地の適正な環境整備に努めるとともに、墓所の返還があった場合は、新たに貸出できるよう整備する。また、令和3年度においては、墓所需要を満たしているため、新規区画の整備は実施しない。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理

【事業の目的】

対象(何を)	高松市民
意図(どのような状態にしたいか)	市民の墓所需要に応じた墓所の新規整備と、適正な墓地環境の整備

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
新規墓所整備数(累計)	区画	1,208	1,208	1,208	1,208	1,208

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	新規墓所使用許可数(累計)	区画	目標値	1,175	1,275	1,355	1,435	1,435
			実績値	1,167	1,252	1,323		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 姥ヶ池東墓地と平和公園墓園の新規区画造成工事が平成28年度竣工し、貸出を開始し、令和2年度における墓所の使用許可数は71区画である。 (目標達成度)							(達成度) 97.6% 34点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
トータルコスト	[千円]	93,850	126,103	47,590	18,194
(事業費)	[千円]	79,482	110,927	32,626	3,230
(職員人件費)	[千円]	14,368	15,176	14,964	14,964

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

墓地内の不良箇所については、随時、改修工事を行っているところであるが、墓地によっては、老朽化が進行しており、今後、計画的な大規模改修工事を行う必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

返還墓所を貸出すことで、現在の墓所需要を満たすことから、今後においては、社会情勢の変化を踏まえた上で、墓地需要の分析を適正に行い、墓地整備の在り方を検討していく。

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	市民やすらぎ課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-822-1917
	基本事業	墓地、斎場の安定的な維持、運営		事業実施主体	市
	事務事業	市民葬儀事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民葬儀は、葬儀に要する経済的負担の軽減を図り、広く市民が利用することのできる葬儀制度として実施している。この制度では、市が葬儀の種類及び料金を定めて市民葬儀取扱指定業者に取り扱わせ、火葬料及び市斎場の式場使用料(一定時間)の免除を行っている。				
3年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・斎場等運営懇談会の開催 ・火葬料及び市斎場の式場使用料(一定時間)の免除 				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)		

【事業の目的】

対象(何を)	葬儀を行う市民
意図(どのような状態にしたいか)	経済的負担の少ない簡素な葬儀を普及させる。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
市民葬儀利用件数	件	546	629	548	549	560

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	市民葬儀利用率	%	目標値	13.3	13.3	14.68	12.4	13
			実績値	12.68	14.6	12.5		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) HPやパンフレット配布による市民葬儀事業のPRに努めたが、目標値である14.68%を下回り、目標値を達成できなかった。 (目標達成度)							(達成度) 85.1% 29点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	15,834	17,979	3,054	3,067
(事業費)	[円]	12,053	14,185	61	74
(職員人件費)	[円]	3,781	3,794	2,993	2,993

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
令和 2年度の利用件数は前年度より減少した。近年、葬儀を取り巻く社会情勢が大きく変化しており、今後の制度の在り方を検討する必要がある。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
令和 2年度より霊柩車等運行助成を廃止したが、今後、社会情勢の変化等の把握に努めるとともに、他都市の実施状況等を踏まえ、制度の在り方を検討する。			